

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 小牧 幸代	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>①調査・研究：2012年度は、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究（C））「聖遺物の複製化・商品化をめぐるマテリアル・イスラームの研究」（研究代表者：小牧幸代）の2年目を迎え、イスラーム聖遺物信仰に関連してこれまでに収集・蓄積してきた資料・情報を整理・分析するとともに、継続的な文献研究を通じて、論文作成に取り組んだ。また、インド・パキスタンにおいてスンナ派の聖者および聖遺物信仰調査、イランにおいてシーア派のイマームザーデおよび聖遺物信仰調査、さらにイタリア、フランス、ドイツにおいてイスラームの鏡像としてのカトリシズムの聖人・聖女および聖遺物信仰調査をおこなうことで、南アジアと西アジア、さらにヨーロッパの聖遺物をめぐる宗教事情・信仰状況に関する比較分析のための重要な手がかりとなる資料・情報を収集した。これによって、2012年度までに収集・蓄積できた聖遺物関連の資料・情報は、国別に見るとインド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、インドネシア、中国、イラン、トルコ、イタリア、フランス、ドイツとなり、宗教別に見てもイスラーム、仏教、キリスト教という「三大世界宗教」をカバーすることとなった。2013年度は、補足調査に加えて資料・情報の整理・分析をこれまで以上に推し進めるとともに、データベース化作業を可能な限り完成に近づけたい。最終的には、多くの写真・図像を掲載した成果物刊行につなげたい。</p> <p>②論文・著書：2012年度に公刊されたものは次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none">◆小牧幸代「南アジアのイスラーム：聖者廟と宗教学校が織りなす信仰の風景」立川武蔵・杉本良男・海津正倫編『新世界地理：大地と人間の物語・第4巻 アジアIV 南アジア』朝倉書店、pp.359-368.◆小牧幸代「インドのイスラーム」井上順孝編『世界宗教百科事典』丸善.◆小牧幸代「ムスリムとカースト<ウッタルプラデーシュ州>：預言者の子孫を頂点としたヒエラルキー」金基淑編『カーストから現代インドを知るための30章』明石書店、pp.248-258.◆小牧幸代「コンタクト・ゾーンとしての聖遺物信仰：南アジア・ムスリム社会の事例から」田中雅一・小池郁子編『コンタクト・ゾーンの人文学 第III巻 宗教実践』晃洋書房、pp.155-175.◆The Cult of Islamic Holy Relics as a Contact Zone: A Case Study of a Muslim Shrine in North India. 『地域政策研究』第15巻第3号、高崎経済大学地域政策学会、pp. 27-39.◆The Name of the Gift: Sacred Exchange, Social Practice and Sayyad Category in North India. 『地域政策研究』第15巻第4号、高崎経済大学地域政策学会、pp. 39-48.	

2 その他の事項

特になし